

こだま Q&A



Q75

結核菌群、アビウム及びイントラセラーがリアルタイム PCR 法から TRC 法へ変更されましたが、何が違うのですか。また、報告日数を具体的に教えてください。

A75

TRC 法・PCR 法のどちらも核酸増幅検査になります。この検査は細胞の中の遺伝子を増幅・検出しそれを計測します。両者の違いは、増幅する遺伝子の違いになり、TRC 法は RNA を、PCR 法は DNA をターゲットにしています。ターゲットの違いはありますが、両者の結果の相関性は高く、全体一致率をみると、結核菌群96.8%、M.avium97.2%、M.intracellulare98.2%と良好な結果が得られています。そのため、以前と同等の結果報告をすることができます。

〈相関性試験成績〉

結核菌群

	リアルタイム PCR法		全体一致率
	陽性	陰性	
TRC法	陽性 77	陰性 5	96.8%
	陰性 2	138	

M.avium

	リアルタイム PCR法		全体一致率
	陽性	陰性	
TRC法	陽性 184	陰性 7	97.2%
	陰性 7	300	

M.intracellulare

	リアルタイム PCR法		全体一致率
	陽性	陰性	
TRC法	陽性 119	陰性 5	98.2%
	陰性 4	370	

*参考資料：rRNA 検出試薬 TRCReady®MTB 及び MAC 添付文書

また、リアルタイム PCR 法では結果報告までに3～6日を要していましたが、TRC 法は所内導入したため1～2日で報告が可能となりました。ご依頼いただいたものは、翌日の午前中に検査を行い、結果をお返ししております。ただし、翌日が休日の場合は休日明けの結果報告となります。TRC 法の保険点数につきましては、リアルタイム PCR 法と同じ、結核菌群核酸検出410点、マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセラー（MAC）核酸検出421点となっております。

お問合せ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 担当 細菌係

きやうちボール

『～ 船頭 かわいや 音戸の瀬戸で 一丈五尺の 艀がしわる ～』

この有名な一節の“音戸の舟唄”は、私がチャレンジしている民謡の全国大会の一つです。会場からは急流と渦潮で名高い音戸の瀬戸が見え、山の緑、海と空の青さが映える風光明媚な場所です。全国から唄名人が集まり交流を深めることで、お互いのモチベーションが上がり、また別の全国大会で再会しましょう！と民謡のPDCA サイクルを回しています。

日本臨床衛生検査技師会の全国学会、支部学会でも同様です。学会計画を立て、参加（発表）し、持ち帰って職場で伝達講習し、業務改善をする。繰り返し学習をすることで、検査技師としてのやりがいを感じています。 福原 由美（検査科病理・細胞診係係長）

<広報委員> 谷敷 圭美 / 橋本 健 / 藤井 ひとみ / 三宅 康雄 / 初岡 博 / 井上 安奈

*本誌はウェブページでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/newsletter>